

## PM2.5 成分モニタリング期間の代表性について

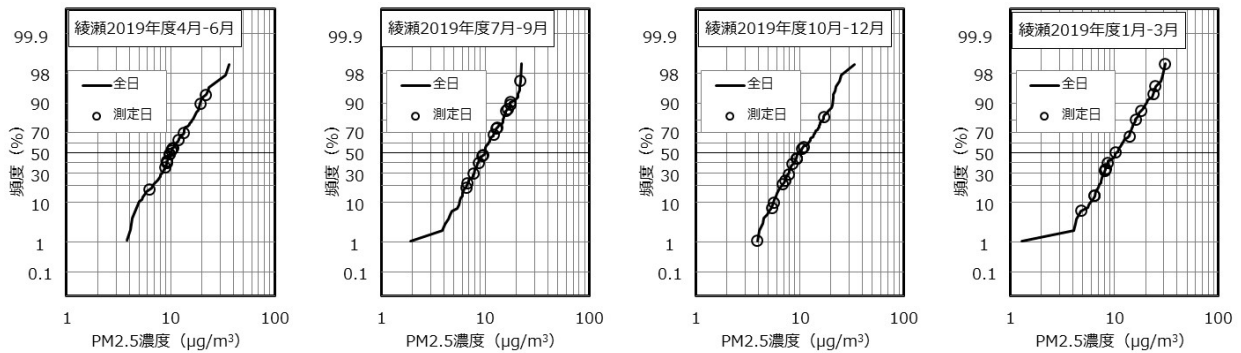
2019年度のPM2.5成分モニタリング期間（年4回、各2週間）の当該季節での代表性を検討した。検討には期間中の大気汚染常時監視データ（自動測定機による質量濃度測定結果）を用いた。4-6月（春季）、7-9月（夏季）、10-12月（秋季）、1-3月（冬季）の日平均値の平均濃度、標準偏差と、各々の季節の成分モニタリング実施日の平均濃度、標準偏差の差の検定を行った。また、各季節のPM2.5日平均値の累積度数分布とその期間中の成分モニタリングの日のデータを図示した。

## 2019年度 足立区綾瀬

 $(\mu\text{g}/\text{m}^3)$ 

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	11.5	6.1	10.7	4.7	11.6	5.8	11.9	5.9
測定日	11.4	4.2	12.5	4.7	8.4	3.2	13.5	8.1
検定	○	○	○	○	×	×	○	○

検定：平均値の差の検定(t検定：有意水準5%)、分散の比の検定(F検定：有意水準5%)

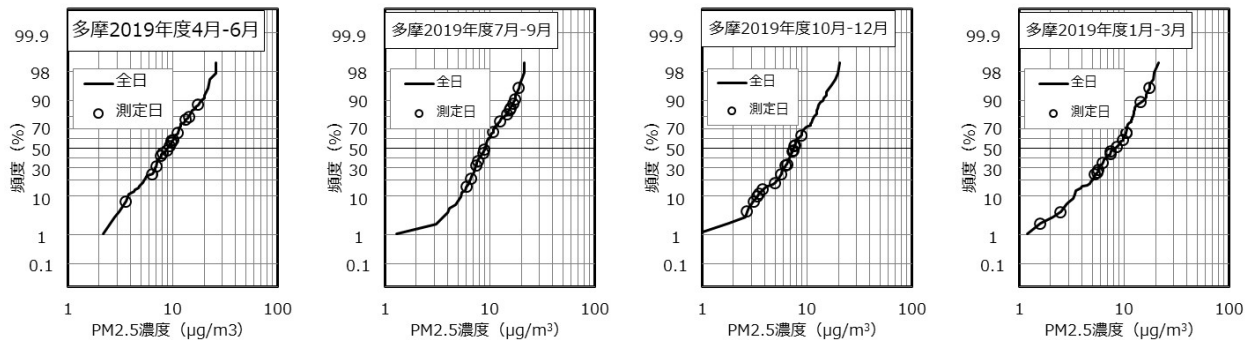


## 2019年度 多摩市愛宕

 $(\mu\text{g}/\text{m}^3)$ 

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	10.1	5.5	10.0	4.4	8.3	4.1	8.7	4.4
測定日	9.8	3.5	12.0	4.5	5.6	2.0	8.1	4.3
検定	○	○	○	○	×	×	○	○

検定：平均値の差の検定(t検定：有意水準5%)、分散の比の検定(F検定：有意水準5%)

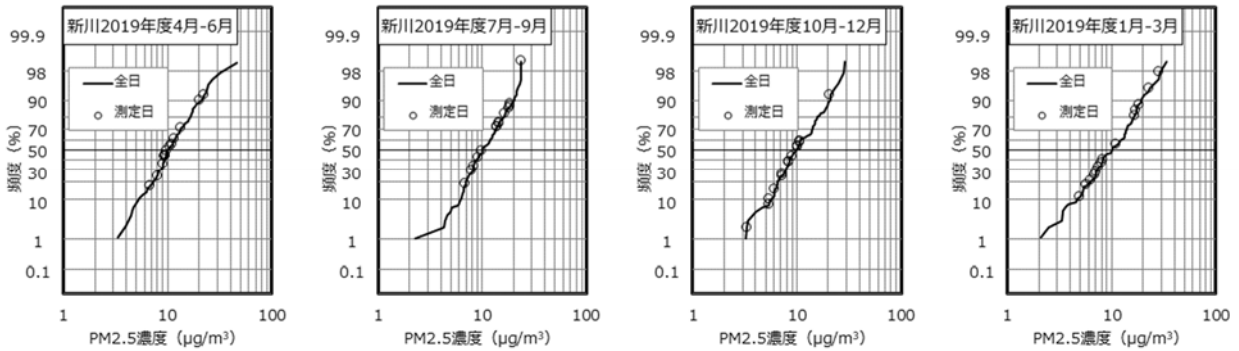


2019年度 永代通り新川

( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	12.0	6.7	11.4	5.1	11.5	5.8	11.4	6.3
測定日	11.6	4.5	14.0	5.0	8.9	4.1	12.2	7.4
検定	○	○	○	○	○	○	○	○

検定: 平均値の差の検定(t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定(F検定: 有意水準5%)

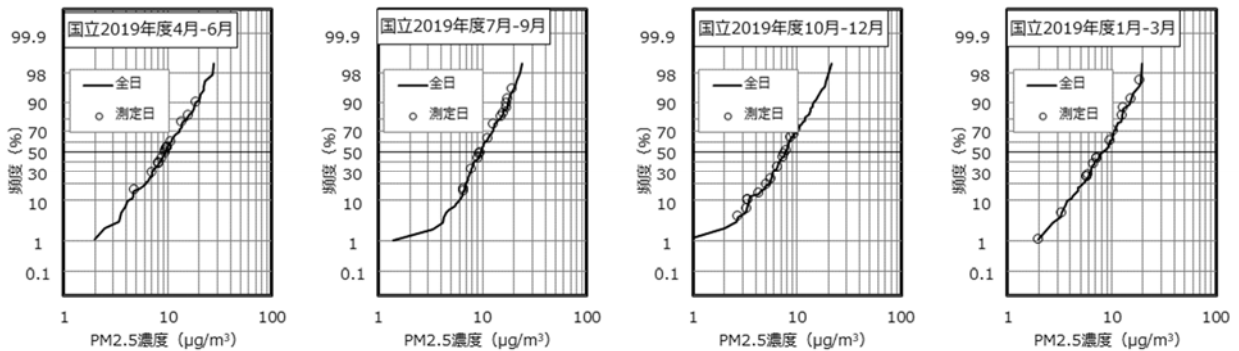


2019年度 甲州街道国立

( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )

	4-6月		7-9月		10-12月		1-3月	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
全日	10.6	5.6	10.6	4.6	8.5	4.2	8.8	4.0
測定日	10.4	3.6	12.6	4.5	6.1	2.5	8.9	4.7
検定	○	○	○	○	×	×	○	○

検定: 平均値の差の検定(t検定: 有意水準5%)、分散の比の検定(F検定: 有意水準5%)



足立区綾瀬、多摩市愛宕、甲州街道国立の秋季の成分分析期間は 10-12 月の中では濃度が低めの期間であった。その他の季節測定地点においては成分分析期間の PM2.5 濃度は 3 カ月の平均と有意な差異は認められず、概ね季節全体を代表する期間であったと考えられる。

注) 成分モニタリング期間中で自動測定機による常時監視データが欠測だった日は濃度変動が類似している近隣の測定局の値を用いて、成分分析期間の季節代表制の評価を行った。

足立区綾瀬 (1/21-23) : 葛飾区鎌倉の同日の測定値、多摩市愛宕 (5/21) : 町田市金森の同日の測定値、永代通り新川 (1/16,17) : 中央区晴海の同日の測定値、甲州街道国立 (5/21) : 新青梅街道東村山の同日の測定値